

井原市 市民活動センター

つどえ〜る通信

《発行所》
井原市市民活動センター
715-0019 井原市井原町352-1
TEL0866-62-9090 (FAX兼)
http://www.ibara.ne.jp/~katudou/
E-mail:katudou@ibara.ne.jp
編集/NPO法人市民交流
ネットワーク井原

熱白論議

「地域力アップを図ろう」

佐藤典子氏の
「まちづくり」
ワークショップ



人材開発コンサルタントとして知られる佐藤典子

子講師を招いての地域力アップのためのコミュニケーション

人の定住には雇用環境が大切「生涯スポーツの

セッション講座が三月二十四日午後、つどえ〜るで開かれました。

昨年三月以来、二回目となる佐藤講師のワークショップは「やる気と元気アップで活気あるまちづくり」がテーマ。参加した五十三人は六人グループに分かれ「あなたのやる気・元気度チェックシート」を使った自己診断からスタートしました。

自分と地域や、地域が抱える課題の演習では「各自がもつ特技を登録」「若い

推進」「井原へ帰って来たい若者は多い」「出会いの場や婚活に力を入れる」「皆で話し合うことがまちの発展につながる」といった建設的意見が出ました。

お母さん一人が頑張っている『子育て』になっていませんか。父親の育児参加は子どもの個性にあった『子育て』になり、親の自己充実にもつながります。今回は『子育ての秘訣』についてお話ししましょう」

「子育ての秘訣」

佐藤教授招き教育講演会

つどえ〜る



「子育ての秘訣」と題したつどえ〜る講演会が

五月十一日に開かれました。講師は就実大学の佐藤和順教授(写真上)。「あなたのご家庭では、

とき：五月十二日(土) 午前10時
会場：つどえ〜る
申込：五月九日までに つどえ〜るへ
受講料：無料
駐車場：市役所やまほろば館も利用可
主催：つどえ〜る

防災セミナー

共助の大切さ認識

参加市民ら被災を想定

地域の防災意識向上を図ろうと、岡山県ゆうあいセンター主催の防災セミナーがつどえ〜るで二月十八日、市内の自治会や婦人会など、自主防災組織の関係者約七十人を集めて開かれました。

昨年三月の東日本大震災以後、防災への関心が高まる中、災害時における「共助」の認識や、具体的取り組みのきっかけづくりがねらい。

講師で防災士の村上浩司氏(香川県直島町職員)は「襲ってくる災害の種類によって対応が違



う」「訓練していないことはできない」「家族と

の連絡手段を確認しておくべき」「自分は宝くじに当たるかもしれないと思ってるが、巨大地震に遭うとは思っていない」などと、人々が繰り返している失敗例を挙げ、注意を促しました。

結果Ⅱ①炊き出し ②避難誘導 ③高齢者の生活支援(以上トップ3)

●設問2
「あなた(もしくはあなたの所属する組織)が災害支援活動を行う際に特に必要性が高いと思われる後方支援機能を3つ選んでください」

結果Ⅱ①避難所の管理運営 ②行政との連絡調整 ③被災者のニーズ収集発信(以上トップ3)

井原市民 まずは炊き出し 災害支援活動アンケート

岡山県ゆうあいセンターは四月十四日、つどえ〜るで二月に開催した防災セミナー参加者のアンケートを集計し、パイロット版をホームページに掲載しました。

◇ ◇

●設問1
「あなた(もしくはあなたの所属する組織)が岡山県内で災害支援活動を行う場合、担うことのできる役割をいくつでも選んでください」

結果Ⅱ①炊き出し ②避難誘導 ③高齢者の生活支援(以上トップ3)

つどえ～る登録団体

〔・印はNPO法人〕

- 備中西商工会青年部美星支部
(代表 酒井 寛郎)
- ・まちづくり岡山ネットワーク
(代表 吉澤万千子)
- さくらの家
(代表 落合 清三)
- 樗の杜塾
(代表 田村 俊逸)
- 鳥羽踊り保存会
(代表 尾山 立志)
- ・プラント
(代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会
(代表 三宅 秀治)
- ・はっぴいひろばとまとさん家
(代表 井上 咲子)
- ・井原はばたき会
(代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドル
ナイトin井原駅実行委員会
(事務局 上田 勝義)
- 井原B B Q
(代表 細羽 宏子)
- 五味会
(代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原
(代表 北川 有紀)
- 井原備中神楽保存会・小中学
生伝承教室
(代表 藤井 和海)
- 倉掛自治連合会
(会長 倉橋 一郎)
- 岩崎おもちゃ病院
(代表 岩崎 勲)
- ・ビビット経ケ丸
(代表 鳥越恵治郎)
- 井原市文化協会洋画部
(部長 原田 晋作)
- 井原スポーツ少年団B B C
(代表 掛橋 浩之)
- たかやランニングクラブ
(代表 高木 完二)
- 井原ライトクラブ
(代表 森下 三男)
- 井原市グラウンドゴルフ協会
美星会 (代表 大元 重明)
- 猪清サロン スミレクラブ
(代表 曾根 勝)
- 井原手話サークル
(代表 山足 敏子)
- ・市民交流ネットワーク井原
(代表 大坪 正廣)

6 団体へ補助金

まちづくり事業・地域活性化事業

つどえ～るで 公開プレゼン

井原市協働推進課はつどえ～るで二月二十五日午後、市民団体等を対象にしたまちづくり事業並びに地域活性化イベントによる補助金申請団体による公開プレゼンテーションを実施しました。応募した六団体三十人



結果、申請していた六団体への補助金交付が三月下旬、決定しました。

◇ 《まちづくり事業》
①鳥羽踊り保存会 (20万円)
②池井の恵み「いただきまーす」実行委員会

を前に市民生活部の国末部長が「二十四年度井原市予算は、防災と協働のまちづくりに配慮したものとなっております。これに関連して「いただきます」など趣旨説明を兼ねて挨拶。

続いて補助金申請事業のプレゼンテーションに入り、各団体の代表らが十分以内で事業目的や予算案を説明し、審査員の質問に答えました。



土作り講座に30人

100万ドルのキャンドルナイト主催

ゴーヤを使った緑のカーテンづくりの講習会(100万ドルのキャンドルナイトin井原駅実行委員会主催)が4月14日、つどえ～るで開かれ、約30人が受講しました。

この日の講師は井原高校園芸科の芝吹先生と河内先生。ゴーヤ栽培

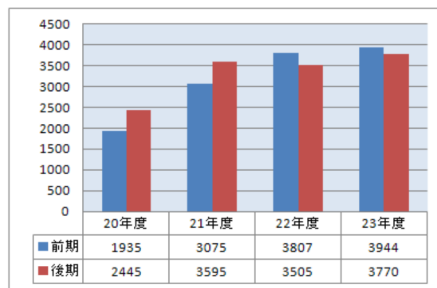


培の流れをスライドで説明後、戸外で土作りやネット張り、肥料の与え方などのポイントを指導しました。閉会后、参加者にはゴーヤの苗がプレゼントされました。

写真=土作りの説明を聞く受講者

- ③明治ごんぼう村運営協議会 (50万円)
- ④井原マイレールプラザ (50万円)
- ①《活性化イベント》
備中西商工会青年部芳井支部 (50万円)
- ②芳井宵あかり実行委員会 (20万円)

■つどえ～る利用者増加



つどえ～るの指定管理団体であるNPO法人市民交流ネットワーク井原は、昨年度の施設利用者数をまとめ公表しました。前期は3944人、後期は3770人と過去最多を記録。同法人では「後期はアクティブライフで改修工事が行われ、その影響による利用もあった」と話しています。

三二情報

■井原桜まつりを開催



井原町まちづくりの会主催の井原桜まつりが4月8日、桜橋公園一帯で開かれました。井原公民館から小田川堤を通るウォーキングは午前9時にスタート。会場は和太鼓の演奏や子供神楽などで盛り上がり、自治会関係者らの協力による模擬店には、長い列ができていました。

つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム兼ミニ会議室
注) コピー印刷等は実費要
注) 本施設は公益的業務以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ
注) 倉庫の使用はご遠慮願います
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室 (机15・椅子30)
9:00~17:00 1時間 200円
17:00~21:00 1時間 300円
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始
注) ただし月曜日が祝日の場合、翌日の火曜日は休館